

星空と路

2020年3月11日(水)～4月19日(日)

入場無料/申込不要/出入自由 3月16日(月)、26日(木)はお休み

会場= せんだいメディアテーク 



「星空と路」は、「3がつ11にちをわすれ
れないためにセンター」参加者による

記録を利活用する機会として開催しています。

プロジェクトを紹介する展示や映像上映、

記録を囲む対話の場をひらき、参加者それぞ

れの活動を通じて、震災をふりかえります。

3がつ11にちをわすれれないためにセンター

3月11日の星空から9年が過ぎようとしています。

「3がつ11にちをわすれれないためにセンター」の参加者は、

技術や経験の有無にかかわらず、

震災にまつわるさまざまなことがらを記録してきました。

あのとき感じた確かなつながりを、かたちに残そうとするひと。

いままでの記録と向き合い、意味を探るひと。

あの日をきっかけに出会った、場所や人との関係を見つめなおすひと。

復旧・復興にとりのこされた、小さなこえを伝えつづけるひと。

こうした、参加者の記録に映し出された

変わりゆく地域の風景やそこに暮らす人びとの姿も、

各地の被害状況がみえづらくなってゆくにつれ、

さらに幾層もの表情があらわれていくように感じます。

彼・彼女らの記録を通してこれまでの記憶をふりかえることで、

ご来場いただいたみなさまと一緒に、

これからの道のりを考えることができればと思います。



3がつ11にちをわすれれないためにセンター

せんだいメディアテークは東日本大震災による甚大な影響に対し、ともに向き合い考え、復興への長い道のりを歩き出すため、2011年5月3日に「3がつ11にちをわすれれないためにセンター」(略称:わすれん!)を開設しました。わすれん!とは、市民、専門家、アーティスト、スタッフが協働し、独自に復旧・復興のプロセスを記録・発信していくためのプラットフォームです。ビデオカメラ等の技術や経験の有無にかかわらず、趣旨に賛同した人びとが参加者となり、個人個人が体験した「震災」を映像、写真、音声、テキストなどで記録してきました。寄せられた記録は適切な権利処理がなされたのち、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として整理・保存され、ウェブサイトでの公開、ライブラリーへの配架、展示や上映会の開催、さらには記録を囲み語る場づくりなど、さまざまな形で利活用されています。この「星空と路」もその利活用のひとつで、わすれん!参加者のみなさんの活動と記録群を紹介しています。



主催・問い合わせ: せんだいメディアテーク 企画・活動支援室 3がつ11にちをわすれれないためにセンター

〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1 tel 022-713-4483 fax 022-713-4482 mail office@smt.city.sendai.jp web <https://recorder311.smt.jp/>

*この用紙はリサイクルできます。